



コロンボ日本人学校 学校便り

アーユ・ボーワン

平成25年2月19日 発行 No.10

失敗を恐れずチャレンジする子 世界一楽しい学校

「 空腹で記憶力アップ 」

校長 黒澤 秀美

一月は行く、二月は逃げる、三月は去ると言いますが、早いもので本年度も3月16日の修了式、卒業式まで残すところ、あと一月となりました。今、学校では今週末に行われる三学期の一大行事であるJSCフェスティバルに向けて、その準備に取り組んでいます。JSCフェスティバルに限らず運動会やその他の行事も同じですが、本校は児童生徒の人数が少ない分、出番が多くとても大変です。大変と言えば大変ですが、人数が多くなかなか自分の出番が回ってこない学校の子もたちに比べたら、出番が多くとても恵まれていると考えることも出来ます。太鼓、歌、劇、英語劇、合奏など覚えたり練習することがたくさんありますが、しっかり練習しすばらしいパフォーマンスを見せてほしいものです。それにしても、小中学生の子もたちの頭はとても柔軟で、その記憶力がすばらしさは、餅つき大会の百人一首で実証済みです。今更ながら感心します。

ところで先日インターネットを見ていたら「空腹で記憶力アップ=ハエで確認、世界初—都医学研」時事通信 1月25日(金)4時11分配信 という記事がありました。内容は「ショウジョウバエを空腹にさせると、物事を長期間覚えておく『長期記憶』が向上することを、平野恭敬東京都医学総合研究所主任研究員のチームが突き止めた。25日付の米科学誌サイエンスで発表する。研究チームによると、空腹と記憶力に関連があることを実験で確認したのは世界で初めて。平野研究員は『人の記憶はより複雑で注意が必要だが、似た仕組みがあるかも知れない』と指摘。記憶力を向上させる薬の開発につながる可能性もあるという。・・・以下省略・・・」(「」内は引用) ということだそうです。

学校教育の現場では、ある時期「暗記、記憶を中心とした学習よりも考え方や学び方を学

ぶ学習が大切だ」という考えが強調されるあまり、丸暗記する学習は、あたかもいけないかのような風潮がありました。もちろん、暗記のみに頼る学習は、問題があるかも知れませんが、暗記も学習の重要な一部分であることは間違いのないことです。

